

**JASDAQ****平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）**平成25年11月12日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大谷工業  
 コード番号 5939 URL http://www.otanikogyo.com  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 芝崎 安宏  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理グループマネージャー (氏名) 阿部 昇 TEL 03-3494-3731  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月12日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成26年3月期第2四半期の業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

## (1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	2,703	△6.0	136	△38.2	163	△34.0	109	34.3
25年3月期第2四半期	2,876	14.8	221	74.1	247	57.7	81	△0.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	12.44	—
25年3月期第2四半期	9.26	—

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	4,265	1,902	44.6
25年3月期	4,152	1,809	43.6

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 1,902百万円 25年3月期 1,809百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	2.50	2.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成26年3月期の業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,500	△4.2	310	△25.3	350	△23.5	210	1.5	23.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	8,800,000株	25年3月期	8,800,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	6,706株	25年3月期	6,108株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	8,793,735株	25年3月期2Q	8,794,392株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	3
4. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
5. 補足情報 .....	9
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府による経済・金融対策により円安・株高基調に転じており、企業収益や個人消費、雇用情勢の改善など景気回復に向けた動きが見られました。その一方で、欧米における財政問題や新興国経済の成長鈍化等の懸念材料も依然として残っており、先行きは不透明な状況となりました。

当社はこのような状況の中、各事業で拡販に努めました。当第2四半期累計期間の売上高は2,703百万円と前年同四半期比172百万円(△6.0%)の減少となりました。

利益面につきましては、売上総利益が581百万円と前年同四半期比97百万円(△14.3%)の減少、営業利益は136百万円と前年同四半期比84百万円(△38.2%)の減少、経常利益は163百万円と前年同四半期比84百万円(△34.0%)の減少、四半期純利益は109百万円と前年同四半期比27百万円(34.3%)の増加となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① 電力通信部門

電力通信部門においては、売上高・利益ともに減少しました。

その要因として、通信業界ではコンクリートポールの建替え工事等により堅調に推移しましたが、電力業界における設備投資の抑制と入札制度による競争激化が依然として続いており、当社関連製品も伸び悩む結果となりました。

一方、鉄塔・鉄構については、電力向け大型鉄塔の新設・改造工事が大幅に減少したため、フェンス等の鉄構でカバーすべく注力しましたが、売上高・利益ともに減少しました。今後もこの傾向は続くものと思われま

す。この結果、売上高は2,032百万円と前年同四半期比259百万円(△11.3%)の減少、セグメント利益は255百万円と前年同四半期比112百万円(△30.6%)の減少となりました。

## ② 建材部門

建材部門においては、全国的に設備投資が回復傾向にあります。当社においても前事業年度に受注済みの大型物件の施工が順調に進み、また採算重視の受注方針としたこともあり売上高・利益ともに増加しました。

この結果、売上高は671百万円と前年同四半期比86百万円(14.8%)の増加となり、セグメント利益は48百万円と前年同四半期比23百万円(93.8%)の増加となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (総資産)

総資産は、前事業年度末に比べ113百万円増加し4,265百万円となりました。これは、主に割賦方式の資金調達等による現金及び預金159百万円、売上債権51百万円の増加と有形及び無形固定資産60百万円、在庫圧縮による棚卸資産23百万円の減少によるものです。

## (負債)

負債は、前事業年度末に比べ20百万円増加し2,363百万円となりました。これは、主に設備関係未払金98百万円の増加と、未払費用51百万円、仕入債務9百万円、退職給付引当金8百万円の減少によるものです。

## (純資産)

純資産は、前事業年度末に比べ92百万円増加し1,902百万円となりました。これは、主に四半期純利益を109百万円計上したことによる増加と、配当金を21百万円計上したことによる減少です。この結果、有利子負債比率(D/Eレシオ)は0.3倍と良好な水準にあります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に発表しました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	346,264	505,593
受取手形及び売掛金	1,388,370	1,439,638
商品及び製品	425,197	402,817
仕掛品	326,422	329,725
原材料及び貯蔵品	175,464	171,294
繰延税金資産	69,314	54,700
その他	9,758	19,617
貸倒引当金	△278	△288
流動資産合計	2,740,514	2,923,099
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	200,448	191,732
機械及び装置(純額)	429,064	394,615
土地	475,185	468,722
リース資産(純額)	10,748	2,277
その他(純額)	56,633	57,624
有形固定資産合計	1,172,080	1,114,973
無形固定資産	71,729	67,989
投資その他の資産		
投資有価証券	81,133	85,313
その他	99,591	74,478
貸倒引当金	△13,001	△1
投資その他の資産合計	167,722	159,790
固定資産合計	1,411,533	1,342,754
資産合計	4,152,048	4,265,853

(単位:千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,099,489	788,770
電子記録債務	—	301,362
短期借入金	300,000	300,000
未払法人税等	17,999	45,452
設備関係未払金	81,556	51,002
未払費用	220,196	168,984
その他	92,925	54,836
流動負債合計	1,812,166	1,710,409
固定負債		
長期設備関係未払金	24,499	153,342
退職給付引当金	414,943	406,767
役員退職慰労引当金	49,764	47,568
その他	40,767	44,971
固定負債合計	529,973	652,649
負債合計	2,342,140	2,363,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	655,200	655,200
資本剰余金	221,972	221,972
利益剰余金	931,203	1,018,634
自己株式	△1,161	△1,332
株主資本合計	1,807,214	1,894,473
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,692	8,320
評価・換算差額等合計	2,692	8,320
純資産合計	1,809,907	1,902,794
負債純資産合計	4,152,048	4,265,853

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	2,876,752	2,703,769
売上原価	2,198,040	2,122,349
売上総利益	678,712	581,419
販売費及び一般管理費	457,522	444,809
営業利益	221,189	136,610
営業外収益		
受取利息	156	128
受取配当金	2,066	1,706
貸倒引当金戻入額	—	325
作業くず売却益	16,349	18,752
不動産賃貸料	3,900	3,000
雑収入	7,018	6,447
営業外収益合計	29,491	30,358
営業外費用		
支払利息	3,278	3,762
雑損失	10	0
営業外費用合計	3,289	3,763
経常利益	247,392	163,205
特別利益		
投資有価証券売却益	2,696	245
退職給付引当金戻入額	559	—
役員退職慰労引当金戻入額	14,902	—
固定資産売却益	—	11,037
特別利益合計	18,157	11,282
特別損失		
固定資産除売却損	2,343	756
投資有価証券評価損	7,959	—
投資有価証券売却損	42	148
厚生年金基金脱退損失引当金繰入額	150,000	—
特別損失合計	160,346	904
税引前四半期純利益	105,202	173,583
法人税、住民税及び事業税	87,110	41,704
法人税等調整額	△63,355	22,464
法人税等合計	23,755	64,168
四半期純利益	81,447	109,414



## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	105,202	173,583
減価償却費	70,463	82,896
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,345	△12,989
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△13,474	△8,176
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17,804	△2,196
厚生年金基金脱退損失引当金の増減額(△は減少)	150,000	—
受取利息及び受取配当金	△2,223	△1,834
支払利息	3,278	3,762
有形固定資産除売却損益(△は益)	2,343	△10,280
投資有価証券評価損益(△は益)	7,959	—
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,653	△97
売上債権の増減額(△は増加)	△75,759	△51,267
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,780	23,246
仕入債務の増減額(△は減少)	176,304	△9,356
その他	8,254	△67,134
小計	388,458	120,157
利息及び配当金の受取額	2,224	1,834
利息の支払額	△2,984	△4,548
法人税等の支払額	△61,337	△10,773
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,360	106,670
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△59,372	△101,773
有形固定資産の売却による収入	—	17,500
投資有価証券の取得による支出	△642	△633
投資有価証券の売却による収入	3,264	5,295
出資金の払込による支出	—	△64
出資金の回収による収入	100	—
貸付けによる支出	△1,532	—
貸付金の回収による収入	3,317	624
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,866	△79,051
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200,000	—
配当金の支払額	△21,870	△21,840
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△8,797	△8,499
セールアンド割賦バック取引による収入	—	190,179
割賦債務の返済による支出	—	△27,958
その他	—	△171
財務活動によるキャッシュ・フロー	△230,667	131,710
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	40,826	159,328
現金及び現金同等物の期首残高	512,000	346,264
現金及び現金同等物の四半期末残高	552,826	505,593

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,292,041	584,711	2,876,752
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,292,041	584,711	2,876,752
セグメント利益	367,762	25,009	392,772

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	392,772
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△171,582
四半期損益計算書の営業利益	221,189

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## II 当第2四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電力通信部門	建材部門	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,032,616	671,152	2,703,769
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,032,616	671,152	2,703,769
セグメント利益	255,257	48,479	303,737

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	303,737
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△167,127
四半期損益計算書の営業利益	136,610

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 5. 補足情報

## (1) セグメント及び品目別売上高明細、受注高及び受注残高

## セグメント及び品目別売上高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	増 減	
				金額	率(%)
電力通信部門	架線金物	1,607,625	1,565,679	41,946	2.7
	鉄塔・鉄構	384,085	700,294	△316,208	△45.2
	その他	40,905	26,067	14,837	56.9
	計	2,032,616	2,292,041	△259,424	△11.3
建材部門	スタッド	661,767	580,043	81,723	14.1
	その他	9,385	4,667	4,718	101.1
	計	671,152	584,711	86,441	14.8
合計		2,703,769	2,876,752	△172,982	△6.0

## セグメント及び品目別受注高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第2四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	前第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
電力通信部門	架線金物	1,576,012	1,608,029
	鉄塔・鉄構	414,739	801,366
	その他	39,997	29,782
	計	2,030,750	2,439,178
建材部門	スタッド	633,696	504,256
	その他	9,385	4,667
	計	643,082	508,924
合計		2,673,832	2,948,102

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。

## セグメント及び品目別受注残高

(単位：千円)

セグメント及び品目		当第2四半期会計期間末 (平成25年9月30日現在)	前第2四半期会計期間末 (平成24年9月30日現在)
電力通信部門	架線金物	146,203	189,631
	鉄塔・鉄構	193,077	573,492
	その他	4,253	5,044
	計	343,533	768,168
建材部門	スタッド	344,281	325,733
	その他	—	—
	計	344,281	325,733
合計		687,814	1,093,902

(注) 金額は販売予定価格によっており、消費税等は含んでおりません。